

# 九重火山の山体変動観測（1995年12月から1996年2月）\*

## Ground deformation of Kuju volcano between December 1995 and February 1996

地質調査所\*\*

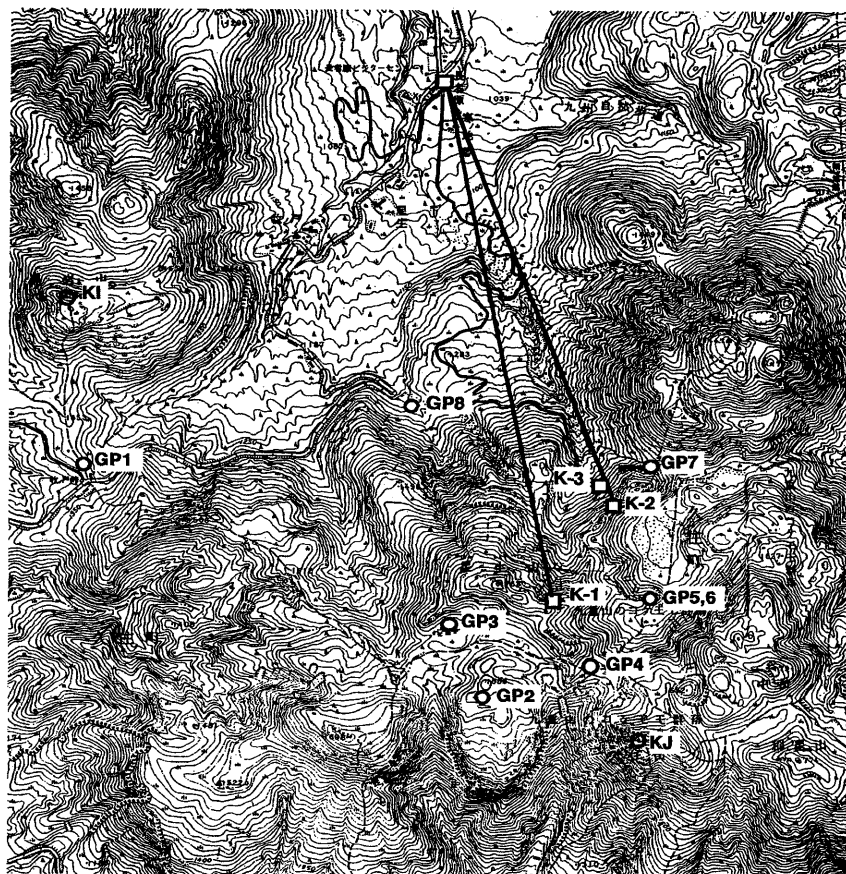
Geological Survey of Japan

地質調査所では、1995年12月から九重火山の山体変動観測を開始した。光波測距及びGPS観測網を第1図に、光波測距結果を第2図にそれぞれ示す。

光波測距は、長者原のヘルスセンター内に自動連続測距の器械を設置し、星生山から硫黄山にかけての3点に反射鏡を設置して行った。測定期間内では器械点と反射鏡K2間の斜距離データのみが良好に得られた。今回報告する期間内では、雪氷の付着等により得られたデータは少ないが、測定誤差を越える大きな変動は認められなかった。

GPS観測は、測定機器を現場に持ち込み測定する方法で行った。牧ノ戸峠付近のGPIを基準とし、他の測定点を移動して計測を行った。今回の測定は初めて行ったものであり、次回の測定以降で変動の傾向が明らかになる予定である。

光波測距の器械点は飯田高原観光株式会社の御好意により設置することができた。記して謝意を表す。

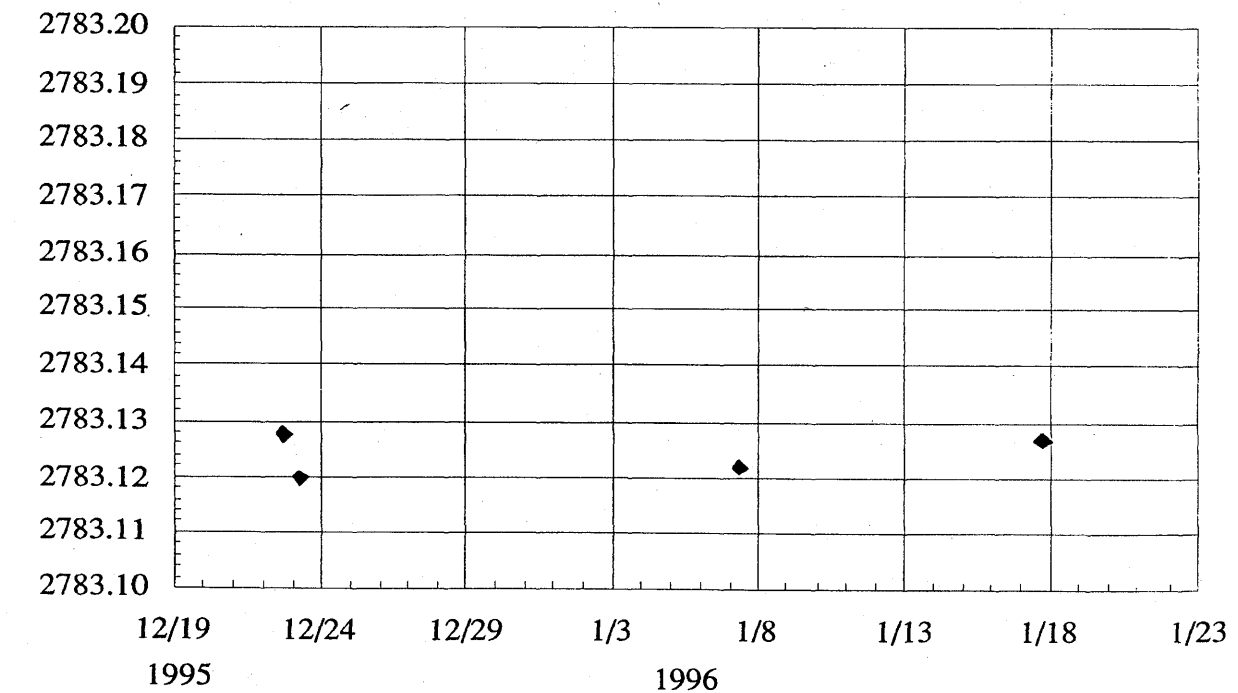
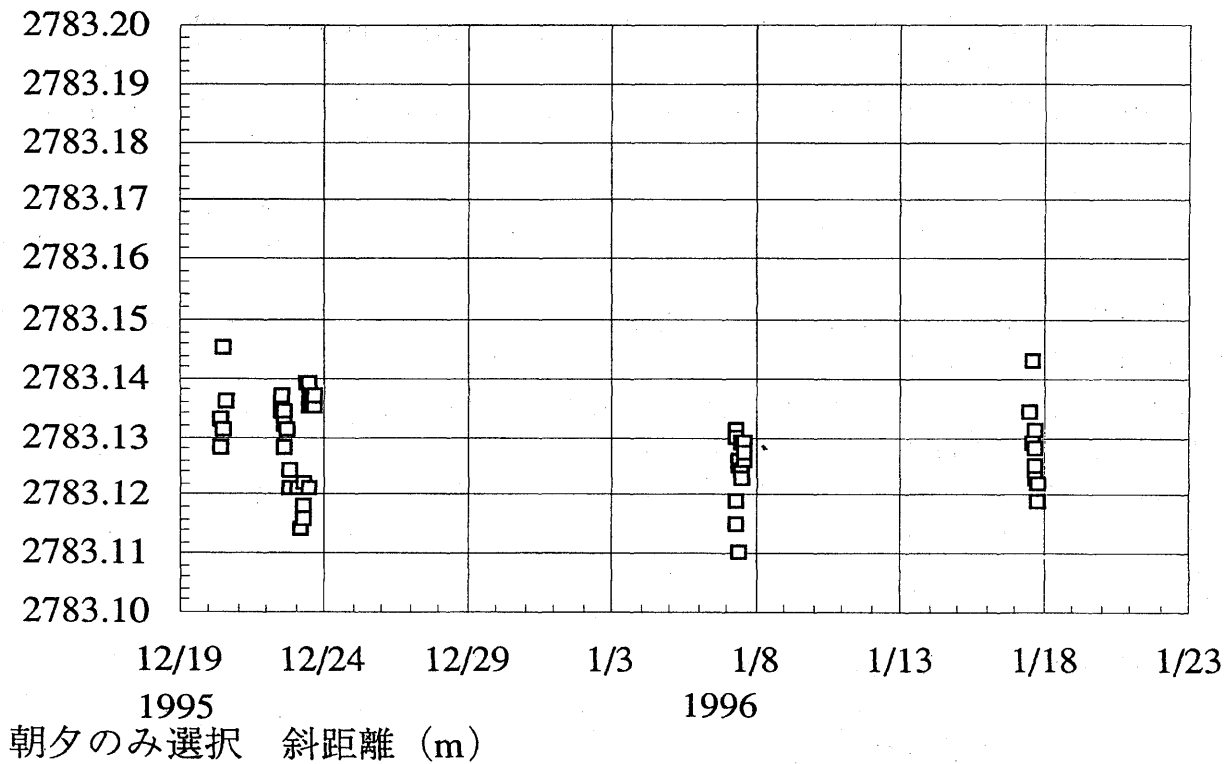


第1図 九重火山山体変動観測網。K1, K2, K3は光波測距用反射鏡, ○印はGPS観測点  
Fig. 1 Ground deformation measurement network on Kuju volcano. K1, K2, K3: targets for EDM, circle: locality for GPS measurement.

\* Received 8 Apr., 1996

\*\* 斎藤英二, 渡辺和明, 須藤 茂

Eiji Saito, Kazuaki Watanabe, Shigeru Suto



第 2 図 長者原 - K 2 間の斜距離変化。自動連続光波測距による。  
 Fig. 2 Change in slope distance between Tyojyabaru and K 2 using automatic EDM system.  
 Upper : all the data, lower : selected data in the stable atmospheric condition in the morning and evening.